



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木 伸太郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森川 淳

TEL 0776-36-5800

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,609	9.0	1,063	19.4	1,838	22.0	1,296	26.7
30年3月期第2四半期	12,483	△1.1	890	20.3	1,507	14.6	1,023	6.0

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 1,204百万円 (△15.8%) 30年3月期第2四半期 1,431百万円 (303.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	208.28	206.80
30年3月期第2四半期	163.71	162.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	31,012	19,688	63.1
30年3月期	29,707	18,776	62.8

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 19,578百万円 30年3月期 18,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	6.5	2,000	△7.0	3,000	△6.1	2,000	△10.5	321.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	6,436,258 株	30年3月期	6,436,258 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年3月期2Q	203,336 株	30年3月期	216,137 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	6,226,151 株	30年3月期2Q	6,250,095 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に底堅さがみられ、雇用、所得環境の改善が進むなど、景気は回復基調にありましたが、米国の通商政策による貿易摩擦の激化や中東、東アジアの地政学的なリスク等により、景気の先行きは、不透明な状況が続いております。

この様な経営環境の中、当社グループの当第2四半期の業況は、主力の染色加工事業をはじめ、全てのセグメントで増収となりました。また、利益面では、原燃料価格や物流費用が増加傾向にあるものの、増収効果と製造原価の低減に引き続き取り組んだこと等により営業利益は増益となりました。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、これらに加え、持分法投資利益が増加したことにより増益となりました。

当第2四半期の当社グループの売上高は13,609百万円と前年同期比1,126百万円(9.0%)の増収となり、営業利益は1,063百万円と前年同期比172百万円(19.4%)の増益、経常利益は1,838百万円と前年同期比331百万円(22.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,296百万円と前年同期比273百万円(26.7%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(染色加工事業)

当事業では、納期対応や開発案件の迅速化などの顧客対応に注力しました。用途別では、主力のユニフォーム用途やスポーツ用途等が堅調に推移しました。利益面では、原材料、燃料価格並びに物流費用が増加傾向にあるものの、グループ全体で工場稼働の効率化に努めるとともに、調達資材の多様化等により、全体コストの縮減やロス削減に引き続き取り組んだことから、増益となりました。

当事業の売上高は6,327百万円と前年同期比29百万円(0.5%)の増収となり、営業利益は533百万円と前年同期比73百万円(16.0%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業は、主力のユニフォーム用途の事業拡大に向け、提案営業による競争力強化に努めるとともに、グループ連携による縫製品事業の市場浸透に注力しました。アパレル事業は、ODMによる商品訴求力の向上に引き続き注力するとともに、既存OEM事業の営業組織を見直し、販売力強化への体制作り着手しました。また、両事業と縫製事業との連携により展示会を開催するなど、差別化商品の販売プロモーションに注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、アパレル事業との連携により、アセアン地域を活用した事業に取り組みました。

当事業の売上高は、4,356百万円と前年同期比742百万円(20.5%)の増収となり、営業利益は215百万円と前年同期比27百万円(△11.3%)の減益となりました。

(制御機器事業)

当事業では、主力の制御装置関連は、自動車プレス機関連制御装置が国内外とも好調に推移しました。また、FA関連制御装置は海外案件は不振であったものの、国内化学プラント関連の設備投資が旺盛であったことにより、堅調に推移しました。電力工事関連は、変電所を中心に中小規模の老朽化設備更新案件が増加しました。情報システム関連は、生産工程管理、業務系情報管理システム案件が堅調に推移しました。

当事業の売上高は、1,096百万円と前年同期比350百万円(47.1%)の増収となり、営業利益は169百万円と前年同期比66百万円(64.0%)の増益となりました。

(その他の事業)

織布事業は、海外向け織物用糸加工、高密度織物が堅調に推移しました。水産資材事業は、沖縄県での中層浮魚礁の販売、施工に注力しました。建設不動産事業は、民間工事ならびに一般住宅の新築、リフォーム案件の受注に注力しました。複合部材事業は、主力のモータースポーツ用途の拡販に向け、既存客先の深耕に努めるとともに、スポーツ・レジャー用途の顧客開拓に努めました。縫製事業は、アパレル向け商品の受注拡大に取り組むとともに、チャンネルの拡大に向け新規の営業開拓に努めました。

その他の事業の売上高は、1,829百万円と前年同期比3百万円(0.2%)の増収となり、営業利益は135百万円と前年同期比48百万円(55.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,304百万円増加して31,012百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより845百万円増加して15,685百万円となり、固定資産は、投資その他の資産の増加などにより459百万円増加して15,326百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ393百万円増加して11,323百万円となりました。流動負債は、363百万円増加して8,066百万円となり、固定負債は、29百万円増加して3,257百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ911百万円増加して19,688百万円となりました。これは、株主資本が1,010百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は63.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は6,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ561百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は1,172百万円の収入(前年同期は876百万円の収入)となりました。税金等調整前四半期純利益1,856百万円や減価償却費251百万円がある一方で、持分法による投資利益697百万円や法人税等の支払417百万円によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は137百万円の支出(前年同期は202百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出157百万円によるものです。

「財政活動によるキャッシュ・フロー」は468百万円の支出(前年同期は601百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額308百万円や借入金の圧縮138百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,779,181	6,340,088
受取手形及び売掛金	4,762,377	4,286,717
電子記録債権	1,360,952	1,688,608
商品及び製品	1,359,402	1,448,240
仕掛品	614,083	776,038
原材料及び貯蔵品	400,902	460,370
その他	584,901	703,585
貸倒引当金	△21,114	△17,894
流動資産合計	14,840,687	15,685,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,422,579	2,336,333
機械装置及び運搬具(純額)	911,263	868,196
土地	2,514,832	2,512,770
リース資産(純額)	88,919	119,590
建設仮勘定	6,032	38,929
その他(純額)	36,725	34,528
有形固定資産合計	5,980,352	5,910,349
無形固定資産		
のれん	120,301	104,628
その他	100,970	97,377
無形固定資産合計	221,272	202,005
投資その他の資産		
出資金	5,682,775	6,197,643
その他	2,983,355	3,017,423
貸倒引当金	△1,050	△1,050
投資その他の資産合計	8,665,081	9,214,017
固定資産合計	14,866,706	15,326,372
資産合計	29,707,393	31,012,129

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,237	3,614,885
電子記録債務	929,030	1,160,720
短期借入金	1,277,318	1,313,402
未払法人税等	463,868	392,111
賞与引当金	547,873	554,504
その他	883,980	1,031,054
流動負債合計	7,703,309	8,066,677
固定負債		
長期借入金	1,454,099	1,279,031
環境対策引当金	21,872	21,872
退職給付に係る負債	902,794	914,034
資産除去債務	114,626	115,262
その他	733,873	926,962
固定負債合計	3,227,265	3,257,162
負債合計	10,930,574	11,323,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,235,624	1,235,128
利益剰余金	12,000,171	12,985,924
自己株式	△431,914	△406,441
株主資本合計	17,458,926	18,469,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	631,269	713,762
繰延ヘッジ損益	△5,812	2,074
為替換算調整勘定	642,034	450,567
退職給付に係る調整累計額	△65,061	△57,199
その他の包括利益累計額合計	1,202,429	1,109,204
新株予約権	68,396	61,136
非支配株主持分	47,066	48,292
純資産合計	18,776,818	19,688,289
負債純資産合計	29,707,393	31,012,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	12,483,000	13,609,441
売上原価	10,588,188	11,476,830
売上総利益	1,894,811	2,132,610
販売費及び一般管理費	1,004,255	1,069,408
営業利益	890,555	1,063,202
営業外収益		
受取利息	737	1,630
受取配当金	22,435	24,435
持分法による投資利益	581,936	697,231
その他	33,128	73,207
営業外収益合計	638,237	796,504
営業外費用		
支払利息	15,892	14,517
その他	5,739	7,021
営業外費用合計	21,632	21,538
経常利益	1,507,160	1,838,168
特別利益		
固定資産売却益	249	18,783
特別利益合計	249	18,783
特別損失		
固定資産除却損	860	97
環境対策引当金繰入額	26,043	—
その他	469	—
特別損失合計	27,373	97
税金等調整前四半期純利益	1,480,037	1,856,854
法人税等	456,897	558,874
四半期純利益	1,023,139	1,297,980
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△83	1,221
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,023,223	1,296,758

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	1,023,139	1,297,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183,823	82,498
繰延ヘッジ損益	6,440	7,886
為替換算調整勘定	△4,007	△9,103
退職給付に係る調整額	258	7,861
持分法適用会社に対する持分相当額	221,431	△182,363
その他の包括利益合計	407,946	△93,220
四半期包括利益	1,431,086	1,204,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,431,134	1,203,533
非支配株主に係る四半期包括利益	△48	1,226

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,480,037	1,856,854
減価償却費	271,222	251,036
のれん償却額	4,553	15,673
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,756	△3,219
受取利息及び受取配当金	△23,172	△26,066
支払利息	15,892	14,517
為替差損益(△は益)	2,924	△2,677
持分法による投資損益(△は益)	△581,936	△697,231
有形固定資産売却損益(△は益)	△249	△18,783
売上債権の増減額(△は増加)	△189,466	147,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,416	△337,045
仕入債務の増減額(△は減少)	299,680	246,720
その他	67,380	131,298
小計	1,320,691	1,578,343
利息及び配当金の受取額	23,172	26,066
利息の支払額	△15,884	△14,600
法人税等の支払額	△451,551	△417,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	876,427	1,172,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△209,103	△157,695
無形固定資産の取得による支出	△7,200	—
有形固定資産の売却による収入	250	23,870
投資有価証券の取得による支出	△2,408	△2,406
その他	15,835	△1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△202,626	△137,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△36,000	1,000
長期借入れによる収入	450,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△642,135	△639,984
自己株式の取得による支出	△78,722	△512
配当金の支払額	△279,412	△308,940
その他	△15,639	△20,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△601,909	△468,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△805	△4,467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,086	561,808
現金及び現金同等物の期首残高	4,250,818	5,640,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,321,905	6,202,242

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算していましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しています。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,297,984	3,613,849	745,490	10,657,325	1,825,675	12,483,000	—	12,483,000
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	16,214	14,155	280,716	311,086	256,322	567,409	△567,409	—
計	6,314,199	3,628,005	1,026,206	10,968,411	2,081,997	13,050,409	△567,409	12,483,000
セグメント利益	459,477	242,518	103,251	805,247	87,332	892,580	△2,024	890,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,327,456	4,356,057	1,096,431	11,779,945	1,829,496	13,609,441	—	13,609,441
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	60,384	9,126	156,056	225,567	261,972	487,540	△487,540	—
計	6,387,840	4,365,184	1,252,487	12,005,513	2,091,468	14,096,982	△487,540	13,609,441
セグメント利益	533,178	215,020	169,344	917,544	135,925	1,053,469	9,732	1,063,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。